

新しい自分を見つける『チャンス』学校統合に向けた対面式

17日の2・3校時に、竹田小学校で「対面式」を行いました。前山小学校と竹田小学校の全校生が一堂に会するのは、今回が初めてです。



今回の対面式に向けては、『子どもたちが、統合する（一緒に学ぶ・遊ぶ）ことが楽しい・楽しみと思える出会いと交流』を目的に、昨年度より実施方法を検討してきました。5月8日には、職員の合同研修を持ち、学年ごとにどんな活動をするか考える機会を持ちました。



はじめの会では、児童会の挨拶やお互い校歌披露、学校紹介クイズ、児童作成の竹田小の校舎紹介プレゼンなど、司会進行も含め両校の6年生が中心となって進めてくれました。



学年ごとの交流会では、自己紹介をした後に、両校児童がグループになり校舎内をオリエンテーリングする学年や一緒にゲームをす



るなど工夫した活動を行っていました。統合時には中学校へと進学する6年生は、19・20日に合同で京都奈良を訪れる修学旅行について話し合っていました。

この対面式の前日の16日は、竹田小学校149回目の創立記念日でした。朝会で校長講話の機会を頂き、3～5年生に実施していた統合アンケートにあった意見を紹介し、統合についての話をしました。

【統合することで楽しみにしていることは】

- ・いっしょにあそべる
- ・たくさんでドッジボール
- ・ともだちがふえる
- ・いっしょにべんきょうできる
- ・いろんないけんがきける
- ・じゅぎょうがおもしろくなりそう
- ・ともだちのとくいなことをしりたい

【どんな学校にしたいですか】

- ・「たけだ」とか「さきやま」とかかんけいなく『なかよく』
- ・力をあわせて『ぐんとのびる』

「どんな学校にしたいですか」については、「笑顔いっぱい」や「楽しい」などの言葉があふれていましたが、上の2つに集約

されるなと感じました。子どもたちは、統合することで友だちが増えることを楽しみにしている子がたくさんいて、前向きに捉えている子が多くいるなと感じました。



また、「心配なことがあれば書いてね」の欄には多くはありませんでしたが、「友だちができるか」や「恥ずかしがり屋だからうまく仲間に入れるか」などの声がありました。朝会では、心配なことをちゃんと言葉にできたこ

とが大事なことなんだよと伝えました。また心配な気持ちが今回の対面式でかわったのか教えてほしいと伝えました。そして今回の対面式を『そんな自分をかえるチャンス』『新しい自分を見つけるチャンス』にしようと呼びかけました。

先生方には対面式後の子どもたちの気持ちを大切にしてくださいと伝えていきます。どんな感想を持ったのか把握し、次の合同授業に活かしていこうと話合っています。次回6月21日には、合同授業をする予定です。